The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	新年号
Author(s)	辻野, 直三郎; 川俣, 順一; 鴛淵, 茂 他
Citation	makoto. 1979, 25, p. 2-13
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86132
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

謹賀新年

財団法人大阪防疫協会
理事長　辻野直三郎

新年あけましてお目出とうございます。本年も皆様がた、いよいよご多幸であらせられますようお祈り申上げます。当協会も創立以来三十二年機関紙「まこと」発行以来七年を迎えることとなりました。これひとえに関係のみなさまがたの御指導と御支援の賜ものにほかならないと、あらためてここに御礼を申上げますとともに本年も尚一層の御指導と御支援の程御願い申上げます。

はじめに

コレラの脅威について

新年そうそう甚だ縁起でもないと、お叱りをうけるむきも、あろうかと存じますが昨年十一月には東京都上野、池之端文化センターにおきまして結婚披露宴に出席した人々から多数のコレラ患者が発生して（別表1号(ロ)）非常な社会不安を醸成するなど、また一昨年六月には和歌山県有田市外七市町に跨がって真性二十三疑似十八保菌者五十八計九十九人内一人死亡という極めて不幸なコレラ患者の発生をみました。この外昨年は各地（別表1号(イ)）に単発をみていることは防疫について関係するものの見逃すことのできない関心事としてこれに取組まなければならないと悄愴（しょうそう）の念に、かきたてられるがためでありまして、この点先ずご了承を得たいと拙文を草する次第であります。

一、コレラ菌発見

コッホ Robert Koch は独逸人で（西暦一八四三―一九一〇）細菌学者として有名。一八八三年にエジプトにおいて流行の際コレラ菌を分離して、その伝染経路を明らかにした医学者であります。それによると若い培養では特長のあるコンマ状の形を示し幅0.5μ長さ2μやや湾曲した杆菌でグラム陰性、きょう膜及び芽胞を欠く端在性のベン毛を有し活発な固有運動を示す。便や吐物の染色標本では魚群が水流に逆らって泳ぐような特長のある配列を示す。好気性アルカリ性、培地にもよく増殖しアルカリ、ペプトンが増殖培地として用いられる。エルトール型コレラ菌は一九〇五―六年の流行から発見されたものでありますが免疫学的性状その他はコレラ菌とは区別できないが溶血性の非常に強いものがあると、されています。我国においては発見者の名を冠した稲葉株、小川株、彦島株などがあり、いずれも分類上国際的に採用されています。

コレラ cholera はコレラ菌 vibrio cholerae によって起る急性伝染病で国際的検疫病の一つ、潜伏期間は三―五日消化器管が侵され嘔吐（おうど）と下痢をおもな症状とし脱水症状（大量の水分が身体から失われる）下肢に、けいれんが起り声がかれ尿が出なくなり、血液の循環が侵されて死亡します。

○コレラ対策消毒

次亜塩素酸ソーダ（HClO）が主として使用される。熱日光還元性物質の存在によって分解して酸素を放つ（$2HClo = 2Hcl + O_2$）、この酸素のため種々の有機物や色素は酸化分解され或いは漂白され飲料水の殺菌消毒、漂白剤として使用されていますが右の外で下水溝には塩化ベンザルコニウム（逆性石鹸）汲取便所には生石灰など使用されている。

二、コレラの致死率について

明治～昭和、大阪府下患者：死者数最少最多例
（大阪府統計書による）

年次	患者数	死者数	死亡率
明治19年	19,709人	15,968人	81.02%
33年	16	13	81.25
大正5年	1,592	991	62.25
14年	53	24	45.28
昭和4年	72	34	47.22
（終戦引揚）21年	70	36	51.43
（参考）（有田市）52年	99（真性23 疑似18 保菌58）	1	1.01

前記の表によれば明治時代の致死率は81％と高率であるが大正時代に入って45％～62％となり昭和時代に入って47％～51％と逓減して一昨年の有田市患者九九人に対し死亡者は僅か一人（老人）と激減していることは文化の進歩、治療医学、消毒など防疫措置の徹底などによることは勿論であります。

しかしながらコレラの集団発生による社会不安そのものの増大は真に測り知れないものがあり、特に治療への時間的おくれ、幼児、老令者のような胃腸、抵抗力の弱い人々にとってはその危険度の大なることは過少看過すべきではない。抗生物質（Penicillium notatum）の使用によるコレラ菌の変形などが検出されて発見、処置などえの手おくれが生ずるおそれがあるからであります。

三、コレラ常在国（汚染地域）とその渡航者について

世界保健機関（WHO）によるコレラ常在国は主として東南アジア、アフリカなどであって、この地域より我国に渡航するものは（航空機）年間約百万人を超過する現状であって之に対する検疫も勿論検疫法第二条により励行されているところでありますが残念ながら検疫機構などにおいて完全とはいい得ない状況にあります。これらを含めてここに問題点を提起致しますと次の諸点であります。

イ．コレラ常在国である汚染地域であって、その国がコレラの予防接種を必要とせずに入国を認めているからといって

渡航後帰国する（多くは観光旅行者）日本人に予防接種を実施しておかないことは防疫対策上極めて危険ではないか？またこの際コレラ常在国より輸入される物資特に海産物の徹底的検疫の実施にふみきるべきではないか？

ロ、コレラ汚染地域（東南アジア、アフリカ）などからの渡航者であってその容疑者について行う際の検疫機関の整備拡充は勿論、保健所、市町村、医療機関、住民組織など横の連絡協調の必要性を検討、実施に移すべきではないか？

ハ、抗生物質など治療医学の向上、上下水道の改善などを過信して、その底流に防疫対策としての予防接種を軽視する傾向なきや？

ニ、現在の防疫対制の不備によるコレラ発生の最大の被害を（精神的、物資的、財政的）うけるものはその地方自治体とその市民ではないか？

ホ、コレラ常在国渡航者に対し予防接種がより簡便に実施し得るような機関の設置などこの際検討の必要なきや？

四、明治時代のコレラ（虎列拉）病死者費用明細書

明治二十三年府下においてコレラ患者八八〇一名内死者七四七七名発生しているが（別表2）石川郡千早村（現南河内郡）村長代理岡林勝治郎の虎列拉（コレラ）病死者費用明細書が出されているが、これは真に貴重な記録であると共にまた興味ある諸点を含んでいますから参考と致したい。

（千早赤阪村史　資料編　生活、民俗五八二頁より抜書）

（別表2号イ・ロ）

これによると死体運搬人夫賃は一人に付一日四十五銭、上級大工で堺市で三十五銭で伝染病死者の運搬費が相当高額であったことを示している。またその他の費用などについても現在との比較に多くの興味ある話題を明細書は提供している。

五、コレラに纏（まつわ）る薬神について

神農さんのお祭り風景

少彦名（すくなひこな）神社、東区道修町二丁目　浪速子に神農（しんのう）さんと呼ばれ薬の神さんとして親しまれているお宮さんがあります。毎年十一月二十二、二十三日には薬屋さんは勿論、病いのお守神として道修町一帯は大変な賑いであります。その御守が「張子の虎」で大阪の数少ない郷土玩具の一つとなっています。神社の出版物によれば安政五年（一八二二）秋浪速の人々を苦しめた三日亡（みっかころり）なるコレラが流行し薬種の中心、道修町はさっそく新丸薬を製造しました。それが虎頭骨などを配合した「虎頭殺鬼雄黄円（ことう、さつき、ゆうおうえん）という丸薬。同時に「張子の虎」をつくり神社の神前にそなえて笹につけて病除祈願を込め、お守りとして無料施与したのです。以来その霊験は著しくあらゆる病いのお守りとして「張子の虎」を求めるものが年々増加し今に残っているのです。「おっさん虎おくれんか……」で賑わうこの神社の祭りは大阪でその年の最後の祭りとして「とめ祭」ともいわれ全国の崇敬者の参拝者でにぎわいます」云々と記されてあります。このことは往時の人々が如何に伝染病のおそろしさに戦々兢々であったかを物語っている証明でもありましょう。

むすび

我が国の首都であり文化の中心地である東京都とその周辺において、このたび極めて非衛生的非文明的国際検疫病であるコレラ患者が集団発生したことは世界的高水準にある予防、治療医学上また文化国家としてうける衝撃は真に測り知れないものがある。従来の例からみて、その多くは感染源が解明されないまま終結するのがそのほとんどであって今回のような事件は国を代表する首都圏でおきた検疫病コレラの発生であることは極めて遺憾であり、衛生に関係ある当事者は特に之れを銘記して速かに、かつ徹底的に疫学上の病根解明と予防に総力を結集してもって民心の安堵と厚生当局の信頼確保に取組まなければならない緊急事件であることを。

妄言多謝、乞うご叱正を

（十一月二十日稿）

別表1号(イ)　昭和53年中コレラ発生状況
（但し首都圏の集団発生を除く）

月　日	概　　要	月　日	概　　要
3月31日	神奈川県鶴見川口、川崎市 エルトール稲葉型、同市内病院患者用浄化そうから発見	8月24日	札幌市3人 フィリッピン観光者 エルトール稲葉型
6月12日	福井市 6月9日～12日台湾旅行者 エルトール稲葉型 （同県は昭和21年復員時9人発生以来のもの）	8月21日	守口市　大学生 フィリッピン旅行者 エルトール小川型
		9月11日	仙台市会社員 フィリッピン旅行者
6月15日	名古屋港貨物船員（愛媛県） ボルネオ（ラワン材積）帰港 Aエルトール稲葉型 Bエルトール小川型	9月24日	亀山市 海外渡航未経験者 エルトール小川型
8月24日	大阪市阿倍野区 非渡航者　老婦人 エルトール小川型 （大阪市は昭和21年復員コレラ43人発生内22人死亡以来のもの）	9月25日	福井市　建設作業員 海外渡航未経験者 エルトール小川型
		10月9日	稲沢市　大工　死亡 海外渡航未経験者 エルトール小川型

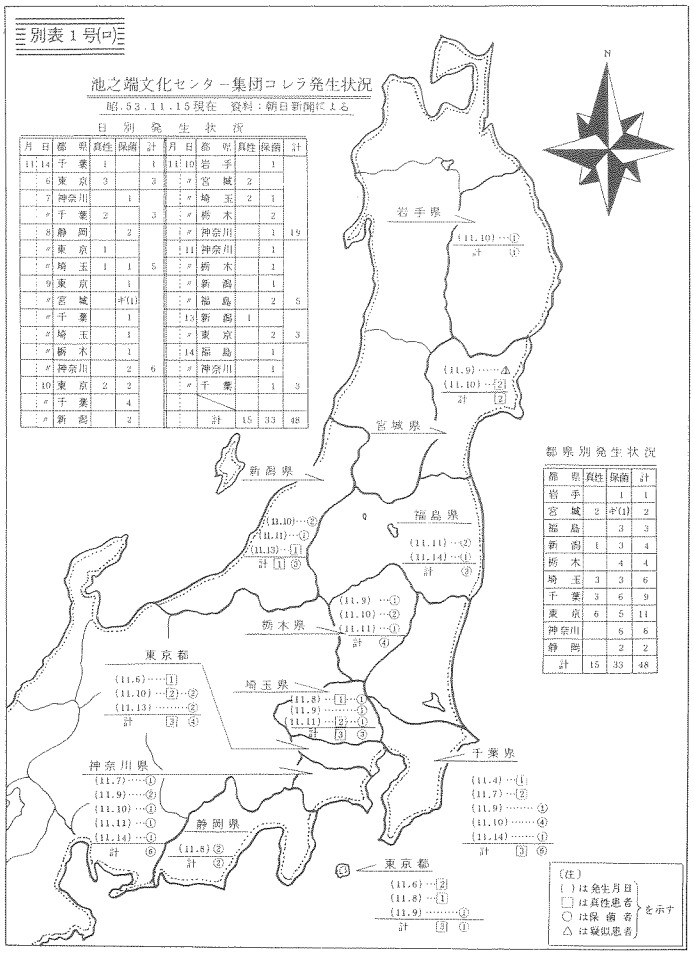
別表1号(ロ)

池之端文化センター集団コレラ発生状況

昭.53.11.15現在　資料：朝日新聞による

日別発生状況

月	日	都県	真性	保菌	計	月	日	都県	真性	保菌	計
11	14	千葉	1		1	11	10	岩手		1	
	6	東京	3		3		〃	宮城	2		
	7	神奈川		1			〃	埼玉	2	1	
	〃	千葉	2		3		〃	栃木		2	
	8	静岡		2			〃	神奈川		1	19
	〃	東京	1				11	神奈川		1	
	〃	埼玉	1	1	5		〃	栃木		1	
	9	東京		1			〃	新潟		1	
	〃	宮城		#(1)			〃	福島		2	5
	〃	千葉		1			13	新潟	1		
	〃	埼玉		1			〃	東京		2	3
	〃	栃木		1			14	福島		1	
	〃	神奈川		2	6		〃	神奈川		1	
	10	東京	2	2			〃	千葉		1	3
	〃	千葉		4							
	〃	新潟		2				計	15	33	48



都県別発生状況

都県	真性	保菌	計
岩手		1	1
宮城	2	#(1)	2
福島		3	3
新潟	1	3	4
栃木		4	4
埼玉	3	3	6
千葉	3	6	9
東京	6	5	11
神奈川		8	8
静岡		2	2
計	15	33	48

別表2号(イ)

千早赤阪村史　資料編

生活・民俗

五八二頁より抜書

虎列拉病死者費用明細書

明治二十三年十月　岡林三郎氏蔵

品目	事由	一個ノ価	員数	合金額
往診料	往診ノ里程十五町	一度金拾銭	二回	金二拾銭
煎薬	主剤	一回六銭	二日	金拾弐銭
広東人参		一匁金拾七銭五厘	三匁五分	金六十一銭三厘
鹿射香		一分金五拾五銭	二分	金壱円拾銭
竜脳		一分金三銭六厘	五分	金拾八銭
熟附子		一匁金二銭七厘	三匁	金八銭壱厘

右ハ私妻儀明治廿三年九月二十九日虎列拉病ニ罹リ九月三十日死亡致候節諸費書面之通リ相違無之候也

明治廿三年十月八日

石川郡千早村長代理

助役　岡林勝治郎㊞

願人　某㊞

合計	焼却費	火葬費	附属品	運搬人夫賃	人夫賃
	汚物	死体	棺桶	汚物	死体運搬
	薹古着疊			三荷 吹田村大字小墓地へ運搬	石川郡千早村大字小吹町墓地へ此里程廿五人夫三人
	一荷十八銭	大人	五拾銭	一人ニ付三十銭	一人ニ付四十五銭
	三荷	一人	一人	三人	三人
金六円八十八銭四厘	金五十四銭	金壱円拾銭	金七拾銭	金九拾銭	金壱円三十五銭

註　石川郡千早村々長鎌谷斉一代理助役岡林勝治郎から大阪府知事西村捨三宛。

医師は、木梨尚香名義の請求書となっている。尚明治十九年六月二十九日の朝日新聞には一月一日以来死亡四千四百五十六人を記しているが検疫本部の管轄は大阪府と奈良県らしいがはっきりしない。五千五百九十七人中の数であるから、その高い死亡率に人民は恐れた。

○

千早赤阪村は葛城、金剛山麓にあり、南朝、後醍醐天皇（九六代一三一九）後村上天皇（九七代一三四〇）時代の忠臣楠正成、正行公父子の拠城であった千早、赤阪城跡であり史蹟地である。

後村上天皇御陵、楠氏の学問所観心寺などあり、現在山上ロープウェイの施設もある。

別表２号(ロ)

明治２３年当時と現在の米価・賃金比較

米　　価

○明治２３年堂島米相場（当月切１石当り）

月	高　値	安　値	平　均	備　考
１　月	7円.870	7円.490	7円.680	
２　月	9.200	7.760	8.480	
３　月	9.200	8.330	8.765	
４　月	9.660	8.105	8.882	
５　月	9.200	8.500	8.850	
６　月	10.940	9.262	10.100	
７　月	8.490	7.110	7.800	
８　月	8.360	7.620	7.990	
９　月	7.635	7.150	7.392	
１０　月	7.300	6.200	6.750	
１１　月	6.320	5.912	6.116	
１２　月	6.363	5.965	6.164	
平　均	8.378	7.450	7.914	

１石平均＝7円.914 ⟶ １升≒7銭.91

○当時の消費者米価格＝１石8円.10～8円.02平均8円.06 ⟶ １升＝8銭.06

○現在の消費者標準米価格＝10kg＝3.000円 ⟶ １升≒450円

○従って、その倍率は $\frac{450円}{8.06銭}$ ＝5,583≒5,600倍となる

賃　　金

職　種	地　区	上級者日当	平　均	現在標準日当（大阪）	倍　率
大　工	大阪市	40銭.0	銭 35.0	円 10,590	倍 30,257
	堺　市	35.0			
	枚方町	30.0			
左　官	大阪市	35.0	33.3	9,960	29,909
	堺　市	35.0			
	枚方町	30.0			
石　工	大阪市	40.0	37.0	14,530	39,270
	堺　市	36.0			
	枚方町	35.0			
雑　役（軽作業）	大阪市	20.0	20.0	5,140	25,700
	堺　市	28.0			
	枚方町	12.0			
計			125.3	40,220	≒32,000

◎ 当時の日当４５銭を現在に推定換算するに

(1) 上記日当の平均倍率をとれば　0.45円×32,000＝14,400円

(2) 上記雑役の倍率をとれば　0.45円×25,700＝11,565円

(3) 前記米価の倍率をとれば　0.45円×5,600＝2,520円

となり、(3)は現在常識的に考えられず、(1)～(2)の日当と推定される。

別表４号

大阪府下におけるコレラ患者発生、死亡者調

（大阪府統計書による）

(イ)（昭和元年～５２年）

年	患者数	死亡者数	備　考
昭１	2人	1人	
2	1	0	
3	1	0	
4	72	34	別表－５－(C)
5～6	0	0	
7	1	0	
8～9	0	0	
10	1	0	
11～20	0	0	
21	(1,245) 70	(560) 36	( )内は全国数
22～37	0	0	
38	(1) 0	(0) 0	( )　〃
39	(2) 0	(1) 0	( )　〃
40～52	0	0	
計	148	71	

(ロ)（大正元年～１４年）

年	患者数	死亡者数	備　考
大１	165人	108人	
2～4	0	0	
5	1,592	991	別表－５－(C)
6	15	10	
7	0	0	
8	96	74	
9	752	420	別表－５－(C)
10	0	0	
11	3	3	
12	3	1	
13	0	0	
14	53	24	別表－５－(C)
計	2,679	1,631	

別表３号

最近１０年間（昭４３～５２）全国コレラ患者発生数等調

区分／年	真性	疑似	保菌者	計	死亡者	発生期間・地域等
昭43～51	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	
52	23	18	58	99	1	6月15日～7月2日 和歌山県有田市他7市町
			1	1	0	6月18日　東京都品川区 （フィリッピン旅行団）
			1	1	0	7月22日　東京都練馬区 （東南アジア旅行団）
	1		1	2	0	8月6日～9日 和歌山県、由良町、有田市
	3			3	0	8月8日～11日　兵庫県高砂市、神戸市 （海上大学パラオ、マニラ、ホーチーミン）
			1	1	0	8月14日　東京都保谷市 （フィリッピン単独旅行）
	2			2	0	10月20日　神奈川県横杉賀市 （スリランカ旅行団）
	1			1	0	10月20日　愛知県名古屋市 （マニラ単独旅行）
計	30	18	62	110	1	

別表５号

(A)　大阪府下における地域別コレラ患者発生、死亡者数調　　（単位　人）

年次 / 地域 区分	明18 患者数	明18 死亡者数	明19 患者数	明19 死亡者数	明24 患者数	明24 死亡者数	明28 患者数	明28 死亡者数
大阪市(ア)	1,072	875	7,878	6,538	455	353	2,981	2,238
西　区	452	367	2,866	2,389	199	156	1,140	813
南　区	365	297	2,457	2,115	96	80	814	609
東　区	99	83	1,281	1,025	60	42	512	411
北　区	156	128	1,274	1,015	100	75	515	405
堺　市(イ)	76	66	793	666	36	32	452	379
西成郡	657	564	3,660	3,027	293	231	2,115	1,638
東成郡	95	80	775	629	25	21	501	401
住吉郡	16	12	394	331	15	12	150	118
島上郡	20	18	159	125	6	6	47	31
島下郡	25	21	244	192	28	27	95	81
豊島郡	16	13	224	173	4	3	109	92
能勢郡	2	2	5	3			3	3
大島郡	28	21	327	249	11	8	158	123
泉郡	8	8	206	166	2	1	71	59
南郡	25	24	344	264	4	3	159	120
日根郡	58	55	312	237	10	9	77	61
石川郡	2	1	64	57	1		13	11
八上郡			76	52			13	10
古市郡	1	1	60	48			6	6
安宿部郡			43	36	1	1	2	2
錦郡	1		8	5	1			
志紀郡	12	12	84	69			8	7
丹南郡			59	49	1		11	10
丹北郡	7	7	166	137	6	4	16	12
河内郡	2	2	38	26	3	1	17	14
高安郡	2	2	7	6			2	2
若江郡	4	3	294	218	9	8	30	27
大鬘郡			10	9				
渋川郡	8	8	159	127	6	5	21	19
茨田郡	23	22	273	216	4	28	82	60
交野郡	5	4	39	31			25	16
讃良郡			52	44	5	4	31	24
添上郡	11	8	424	339				
添下郡	14	9	178	136				
山辺郡	3	2	107	86				
広瀬郡	1	1	83	63				
平群郡	4	4	176	130				
式上郡			186	151				
式下郡	4	4	206	153				
宇陀郡			23	12				
十市郡	3	2	773	548				
高市郡	4	3	235	184				
葛上郡	1	1	174	123				
葛下郡	4	4	357	286				
忍海郡	1	1	12	10				
宇智郡			4	4				
吉野郡			18	13				
郡部計(イ)	1,143	985	11,831	9,430	501	404	4,214	3,326
再掲								
大阪西区	1,072	875	7,878	6,538				
堺市	76	66	793	666				
南郡岸和田	10	10	93	74				
西成郡難波	102	92	725	608	55	45	469	358
〃　木津							132	99
〃　曽根崎					7	5	135	108
〃　九条							189	140
〃　上福島							91	72
〃　北野							102	85
東成郡天王寺	29	25	284	227	4	4	213	139
〃　平野					6	5	72	54
添上郡奈良	9	7	215	173				
添下郡郡山	5	4	100	78				
再掲計	1,303	1,079	10,088	8,364	72	59	1,403	1,055
合計(ア+イ)	2,215	1,860	19,709	15,968	956	757	7,195	1,564

（注）明18･19年には現在の奈良県を含む。　　（大阪府統計書より抜すい）

(ハ)　（明治１３年～４４年）

年	患者数	死亡者数	備考	年	患者数	死亡者数	
明13	116	58	7月～12月	明29	119	69	
14	2,018	1,685		30	86	44	別表－５－(B)
15	2,604	2,097		31	58	33	
16	81	44		32	53	25	
17	85	47		33	16	13	別表－５－(B)
18	2,215	1,860	別表－５－(A)	34	1	1	
19	19,709	15,968	別表－５－(A)	35	1,331	1,015	別表－５－(B)
20	59	27		36	1	1	
21	51	37		37～39	0	0	
22	78	55					
23	8,801	7,477		40	385	296	別表－５－(B)
24	956	757	別表－５－(A)	41	0	0	
25	120	78		42	9	5	
26	47	29		43	951	629	別表－５－(B)
27	73	37		44	4	2	
28	7,195	5,564	別表－５－(A)	計	47,222	38,016	

(B)

年次 / 地域 区分	明30 患者数	明30 死亡者数	明33 患者数	明33 死亡者数	明35 患者数	明35 死亡者数	明40 患者数	明40 死亡者数	明43 患者数	明43 死亡者数
大阪市	34	13	5	5	818	627	244	181	479	325
西　区	14				350	258	114	88	222	157
南　区	12	4	2	2	207	169	39	27	100	61
東　区	3	2	2	2	113	91	17	10	60	44
北　区	5	2	1	1	148	109	74	56	97	63
堺　市	3	2			115	97	44	39	38	32
西成郡	4	2	1	1	173	131	31	23	102	75
東成郡	6	2	4	3	48	37	1	1	58	50
三島郡	2				16	11	1	1	7	7
豊能郡	1				30	20	3	2	27	15
泉北郡	10	9	2	2	14	11	19	13	8	6
泉南郡	7	5	1		59	39	24	21	138	105
南河内郡	5	5	1	1	5	4	6	5	7	7
中河内郡	7	3	1	1	21	17	1	1	28	20
北河内郡	7	3	1		32	21	11	9	59	50
郡部計	52	31	11	8	513	388	141	115	472	367
合計	86	44	16	13	1,331	1,015	385	296	951	692

(C)

年次 / 地域 区分	大5 患者数	大5 死亡者数	大9 患者数	大9 死亡者数	大14 患者数	大14 死亡者数	昭4 患者数	昭4 死亡者数
大阪市	976	630	348	149	47	21	46	23
西　区	450	296	162	69				
南　区	206	138	63	25				
東　区	82	49	34	18				
北　区	238	147	89	37				
堺　市	31	22	61	37			10	2
西成郡	298	153	84	60				
東成郡	101	61	71	56				
三島郡	21	18	8	7				
豊能郡	7	4	1	1	2	1	1	1
泉北郡	21	11	40	27	3	2		
泉南郡	83	51	63	39			12	6
南河内郡	5	4						
中河内郡	15	11	63	33	1	0	3	2
北河内郡	34	26	13	11				
郡部計	616	361	404	271	6	3	26	11
合計	1,592	991	752	420	53	24	72	34

年頭所感

大阪大学微生物病研究所
所長　川俣順一

天災は忘れた頃にやって来ると言われています。一昨年、昨年と続いたコレラ騒ぎはまさにそのように見られています。しかし、防疫の専門家の間では早くからこのような事態の起ることの指摘されていたことは御承知の通りであります。忘れた頃と言えば、同じような事がこれまた昨秋報道されました。今から十年程前のことですが大阪梅田で流行性出血熱が発生しました。これは戦前に中国東北部（旧満州）で流行したものと同一の疾患と考えられていました。一方、朝鮮動乱を機に在韓米軍に多発した韓国型出血熱がこの梅田の流行性出血熱と抗原的に一致することが抗体調査の結果最近確認されました。ところが奇妙なことに、この病気と同じと考えられる感染症がこんどは動物実験に従事する者の間に発生しているというのであります。

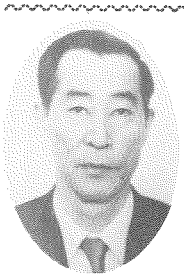
コレラは古くから知られた、敵情の良くわかった感染症です。それでもその防疫の完璧を期することは困難です。ましてこの流行性出血熱のように病原体（ウイルスと考えられている）の分離同定も未だされておらず、言うなれば敵情のよくわからない相手に対しては一層その防疫活動には困難があります。その他多くの感染症がわが国の周囲には多数存在し、その一部は既にわが国に潜入しているかも知れません。

このような事態に対処するにはあらゆる面からの研究が必要であります。幸いにも大阪ではすでにこの方面への具体策が樹てられ実行に移されつつあります。防疫活動は今や一国、一地域ではなく地球的規模で実施しなければならないことは周知の通りです。既存の防疫態勢だけで対処できない面の多多あることは否めません。それにはそのような感染症そのものに関する研究を促進し、又、研究者の層を厚くし、その上に立って防疫活動が実施されなければならないと思っています。

昭和五十四年の年頭に当り、皆様の御多幸と御発展を御祈りすると共に、今後一層の御協力を心から御願い申し上げます。

新年にあたって

大阪府衛生部長
鴛淵　茂



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本府の衛生行政に多大の御尽力を賜わり厚くお礼を申し上げます。

さて、最近我国の「円高ドル安」がもたらす経済情勢の低迷は、日々に厳しさを加えておりまして、不況による企業倒産、雇用不安等の諸問題が起っております。大阪府においても、財政状況は、この影響を少なからず被むり、苦境に見舞われている次第であります。

しかし、このような状況下にあっても、本府の衛生行政は、府民の福祉、保健衛生推進に最大の努力を払っていくことが使命であると考えております。

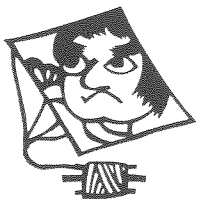
ところで、去年八月末においてコレラの輸入例が大阪府下で発生しましたが、万全の防疫措置を図った結果、幸いにして守口市で一名の患者発生に止まった次第であります。この背影には、近年とみに海外旅行が盛んになり、東南アジア等のコレラ汚染地域からコレラ潜伏期間中に、航空機によりまして数時間で我国に帰国可能であるため、帰国後国内で患者が発生しているという次第であります。

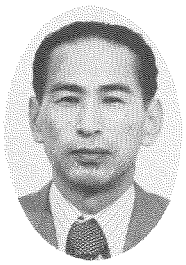
このことから、検疫体制のより一層の強化を図る必要が望まれます。

このほか、救急医療体制の整備充実、疾病の予防と保健体制充実の諸施策についてもどれ一つとしてゆるがせにできないものでありまして、府民の健康を守るために鋭意努力する所存であります。

つきましては、各位の御支援御協力をよろしくお願いする次第であります。

おわりに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。





新春のごあいさつ

大阪市環境保健局長
保川圭司

あけましておめでとうございます。

旧年中は、本市の環境保健行政に多大のご尽力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨春、私が環境保健局長に就任以来、関係各位には種々ご協力をいただき、あらためてお礼申しあげます。

近年、我国の経済は大きな変動期を迎え、これまでの高度成長から安定成長へと転換し、社会的にもさまざまな変革が現出しております。

それとともに私達をとりまく環境も様相が変化しつつあるところでありますが、今日までの産業の発達、交通の輻輳及び昼間人口の都市への集中等による生活環境への影響は多大なものがあります。

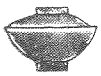
一方、さまざまな問題が提起され、複雑化しつつある環境保健行政の推進においても、幾多の試練の時期を迎えておるといえましょう。

生活環境のみならず、食品、防疫、医務等の分野におきましても、健康に直結する問題として、安全の確保の重要性ならびに人びとの調和のとれた進歩をめざす意味からも、公衆衛生の活動の場はますます拡大し、重要性を増していくものと思われます。

これらの問題を改善し、よりよい環境をつくり出して行くことは、現代に生きる我々の課題であるとともに、未来に対する責務でもあると考えるところであります。

このような観点にたって、公衆衛生に携さわる私達としましても、その重責を十分認識し、市民の健康と福祉の増進に向って邁進する所存でございます。

今後とも貴協会のご協力を心からお願い申しあげますとともに、皆様方のご健康と財団法人大阪防疫協会の御発展をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



新年を迎えて

大阪府立公衆衛生研究所
所長　古野秀雄

新年おめでとうございます。

私等をとりまく環境として、昭和46年夏のドル・ショック、同48年末の石油危機を契機に一挙に表面化した世界経済の混迷はなお解消のきざしがみられず、ここ数年、わが国経済も文字通り歴史的な転換を経過しており、新しい次の発展路線を求めての苦闘が続いております。

このような状勢のもと、最近の関西地区の景況は、構造的及び循環的にもきびしいものがあり、関東地区などに比較して回復の遅れが目立ち、不況脱出の目途は充分についていないように感じられます。

しかし、日本経済が国際化の一層の進展のなかで安定成長へと移行している現在、関西経済の復権の将来は存外明るく、新しい発展が期待されているとも考えられます。

かかる状勢のもとに新しい年を迎えるのでありますが、私共が担当している公衆衛生面におきましても、幾多の難問題が山積しております。

その一つにコレラ患者の多発があります。コレラは、皆様ご存じの如くもともとわが国には常在しない伝染病であるため、東南アジア等の汚染地域から持ち込まれたものと考えるほかありません。

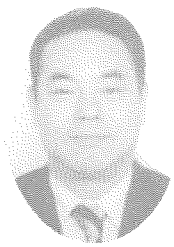
近年、国際間交通の増加、スピード化、大型化に伴い世界の間隔は狭くなり、伝染病流行地から短時日で来航するため、各疾病の潜伏期間中に入国する者に対し、監視強化を図る必要があることは勿論でありますが、旅行者の自覚も重要であり、現地で、なま水、なま物はとらない、帰国途中や帰国後にもし若干の症状でも現れたときは直ちに届け出る等最低限の責任は果すべきと思います。

一方我々公衆衛生に直接関与する者も新しい時代に対応した防疫体制の確立に工夫を加え、十分に機能するよう努力し、下水道の整備等他行政施策と相まって先進国にふさわしい衛生環境づくりに邁進いたしたいと念願しております。

終りに貴協会におかれても、多年累積された技術をさらに研鑽され、公衆衛生行政の推進にご尽力をお願いするとともに益々のご発展を祈念いたします。

年頭のあいさつ

堺市衛生部長
忠見　進



明けましておめでとうございます。

昭和五十四年の新春を迎え、皆様のご健勝を心からお祝い申し上げます。また昨年は本市保健衛生行政に多大のご協力を賜わり心からお礼申し上げます。

本市では、昨年、泉北保健所、保健医療センターの開所と相つぎ、あわただしい一年を過ごしましたが、泉北ニュータウン地区における保健行政の充実と休日診療体制の確立という課題に対しまして、いくぶんかでも責任を果たせたと自負しております。いうまでもなく、保健衛生行政の中心的課題は、市民の健康の保持および増進であり、この課題を実効あらしめるためには、施設の設置はもちろんのこと、その中で働く職員の保健衛生に対する知識がともなわねばなりません。いろいろと要望の多い今日ですが、職員一同研鑽にはげみ、住民の方々に親しんでいただける、より充実した施設にいたしたいと思っております。また、コレラ対策につきましても、早期に万全の体制をはかるべく検討中であります。

時おりしも「黄金の日々」で堺市がクローズアップされ、全国の注目の的となりました時期でもあり、自治都市堺の名に恥じぬよう、あらためて地方自治の原点にたちもどり、保健衛生行政の充実をはかりたいと念願するものであります。

最後になりましたが、皆様方のご健康と財団法人大阪防疫協会の益々のご発展を祈念いたしまして年頭のあいさつとします。

◇◇◇◇◇

府政だより

◇◇◇◇◇

大阪府衛生部では次の主な行事が行なわれる予定です。

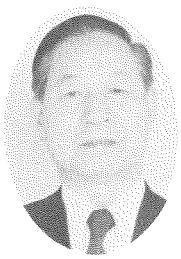
○ねずみ駆除月間
期間　1月6日～2月28日

○成人病予防週間
期間　2月1日～2月7日

○かい犬条例強調月間
期間　3月中

選択

日本万国博覧会記念協会
理事長　今枝信雄



明けましておめでとうございます。新年を迎えると人それぞれに一年の計に思いを廻らせるものです。しかし、天下国家の事に始まり、自分の仕事から身辺雑事に至るまで、あれこれと考えあぐんでしまうのが凡人の常、挙句の果てに「商売繁盛、家内安全」を神頼みするのが落ちかも知れません。

ところで、一年の計であれ、百年の計であれ、何事によらず計画を立てることから始めなければ事は運びません。計画を立てるには、まず物事の整理から始まり、その整理の過程にいくつかの案が生まれ、そのうちのどれかの案を選択するという手順を辿ることになります。

政治や行政の分野でも、このような整理、選択の手順があります。例えば、経済の高度成長とともに社会保障、福祉政策が手厚く実施されてきましたが、低成長期に入るとともに、これらの政策の見直しが政治の問題となってきました。社会保障、福祉政策の財源として、税の自然増収を当てにすることができないとすれば、増税の措置が必要になることは当然でしょう。「高福祉、高負担」の路線を取るか、増税を回避するかの選択をしなければなりません。

このような整理、選択の手順を民主的に行うか、独裁的に行うかが政治体制の違いになるわけですが、これは何も政治の世界だけのことではありません。家庭の問題にしても、家父長的権威を重んじ、これに固執するあまり、親子、孫の三代にわたる一家心中という事件も起るのです。新年早々、碌でもない事例を引いて恐縮ですが、物事の手順がどんなに大切かということを考えていただくために引用した次第です。

ともあれ、新年を迎えた新しい気持で、整理、選択という手順についてもう一度考え直してみてはどうでしょう。目的のために手段を選ばないというのではなく、手段を選ぶことの大切さを思えば、エゴだとかゴリ押しだとか言われるようなことは少なくなることでしょう。

新春を迎えて

南海電気鉄道株式会社
専務取締役
鉄道事業本部長　嶋村信男

謹しんで年頭の御祝詞を申しあげます。

すがすがしい新春を迎えて心あらたまる時季に感じるのは、街がいつもこんなにきれいであったらと思うことです。十年も前ですが、当時の仕事の関係で南フランスのサントロッペを訪れました。地中海に面したそれほど変りばえのしない小さな漁業の町ですが、急に有名な観光地になった土地で、町にはヨットハーバーや小さな美術館まであるところです。その海岸の小さな通りに面した茶店風のレストランで昼食をしました。日本でいうならば、よしず張りの茶亭でしょう、出てきた食事も美味かったが、満員のお客も世界の各地から来たようで楽しい昼食の一ときでした。食後、手洗いに立って奥に通じる狭い通路からトイレットのドアを開けて驚きました。素晴しい大理石に装われた広い洗面所、それまで泊ったどのホテルのものより立派なトイレです。日本の観光地の茶店のトイレを予想していた私にとって目を疑わすような設備であり、鄙びた茶店風のレストランとは似ても似つかぬものでありました。そこに世界の観光客を相手にするフランスの観光地の面目躍如たるものを痛感したわけです。

清潔とは一番高価なものである。という話を聞いたこともありますが、清潔であるということがいかに人の心をなごませ、喜ばせ、楽しませるかということをしみじみと感じさせられました。

昨年、南海なんば駅が改装され、なんばシティーが第一次のオープンをしました。装いの街なんばシティーには最近特に要望の高いコミュニケーションの広場もあります。新聞紙上でも北の街と南の街との競争ということで書きたてられますし、私共も大阪の南の夜明けの第一歩とでも、又、個人のお宅に限った話でもなく、日常、会社とその社屋を訪れるお客様との間にも、同じことが言えると思います。

私は、昨年夏、現在の総務部長の任に就くまで、14年間にわたり、営業畑を歩いて来ました関係上、広告主や広告代理店を始め、よそ様の会社を訪問させていただく機会が多くありました。

美しく豪華に飾られた応接室は、勿論、気持ちの良いものですが、社員食堂やロビーを始め、社屋の隅々まで、衛生に注意が払われ、清潔にされている会社を訪れることは、誠に、気持ちの良いものです。

このような、気持ち良く訪れることの出来る会社は、又、必ず業績も良いように思われます。

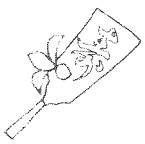
さて、当社は、昨年11月、皆さまのお陰をもちまして、無事開局20周年を迎えることが出来ました。紙上をお借りいたしまして、改めて、厚く御礼申し上げます。

がここから始ると信じています。

それだけに私共は、この街も駅もできるだけきれいに、そして清潔にして行かねばならないと考えております。

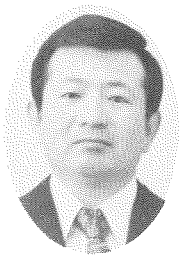
南の新しいシティーが本当の賑いをとりもどすかどうか、これはその清潔さによってきめられてくるのではないかと思われます。

街も道路も、そして海も空も清潔なところに人々の本当に人生を楽しめる場ができてくると信じるからです。



年頭のごあいさつ

関西テレビ放送株式会社
総務部長　松本幹男



新年明けましておめでとうございます。

貴協会が公衆衛生の向上のため、日夜、努力しておられますことは、誠に慶賀にたえません。

本年も、日頃お世話になっている方々、知人・友人のお宅に、年始のご挨拶に伺われた方も多いと思います。

言い古されたことではありますが、「玄関を見たら、その家が分かる」の例え通り、おじゃましたお宅の玄関が、美しく掃き清められているのを見ますと、新春の清々しさも増すものです。

玄関を開けたとたん、主人ならぬ、ネズミの挨拶を受けたとなりますと、仮に、干支が〝ネズミ〟の年であったにしろ、シャレにもなりません。

このことは、新年に限ったことでなく、個人のお宅に限った話でもなく、日常、会社とその社屋を訪れるお客様との間にも、同じことが言えると思います。

私は、昨年夏、現在の総務部長の任に就くまで、14年間にわたり、営業畑を歩いて来ました関係上、広告主や広告代理店を始め、よそ様の会社を訪問させていただく機会が多くありました。

美しく豪華に飾られた応接室は、勿論、気持ちの良いものです。

このような、気持ち良く訪れることの出来る会社は、又、必ず業績も良いように思われます。

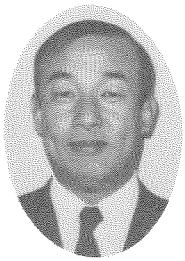
さて、当社は、昨年11月、皆さまのお陰をもちまして、無事開局20周年を迎えることが出来ました。紙上をお借りいたしまして、改めて、厚く御礼申し上げます。

当社では、この20周年を記念しまして、芸術祭参加ドキュメンタリー「足跡―ある日本人ペル―移民の記録―」を制作いたしましたが、この制作に当たったスタッフが、ペルーのアマゾンのジャングルでの取材から帰り、異口同音に申したことは、「取材の苦労はさておき、ジャングルの蚊やダニのような吸血虫には閉口した。今の日本と比べると、天国と地獄ほどの違いだ」ということでした。

勿論、アマゾンのジャングルと比べようはありませんが、戦後間もない日本の衛生状態を思い起こしてみた時、又、当社におきましても、開局のころは、悪名高い「梅ケ枝ネズミ」にスタジオのカメラケーブルをかじられて困ったこと等々を思いますと、改めて、貴協会の不断のご努力に対し、感謝いたしますと共に、敬意の念を禁じ得ません。

又、当社では、テレビ放送の公共性に鑑み、記念番組の制作の他に、青少年の健全育成を目指した財団法人を設立したり、女子のトッププロゴルファーを一堂に会しての「KTVレディースクラシックゴルフトーナメント」を開催する等の種々の記念事業を行なって参りましたが、この棹尾を飾り、今春3月に、アメリカの前大統領・ジェラルド・フォード氏を招聘し、当社制作の番組に出演していただくべく、只今、準備を進めております。

これまで同様、否、いままで以上に清潔な社屋にフォード氏をお迎え出来るよう心がけておりますので、貴協会の倍旧のご指導・ご協力をお願いいたしますと共に、貴協会の今後一層のご活躍・ご発展をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。



容の大切さ

阪急電鉄株式会社
運輸部次長　山口　明

明けましておめでとうございます。

私達の阪急電車が種々発展するための援けとして、皆様方のご協力、ご尽力が貴重なものであります故、年頭に当り特にご配慮をお願いする次第です。

正月といえば初詣など特に女性が日頃余り親しまぬ和服、日本髪などに意を擬らし、街々が〝らしさ〟を醸すときであります。そこで容ということにつき考えてみたいと思います。

「馬子にも衣裳」という、又正月に身繕った女房に、これがわが妻かい！と夫が驚く川柳もある。これらは美しく装うことにより色々な変化があり、見る人が〝やあ、きれいになったなあ〟とその変りようにびっくりするのである。そのとき私はそこで外から見ての変化より、変るであろうご本人の内面に実は注意を払いたいのだ。こんな綺麗なものを身に付けているのだから「余り端っ葉な事はできないワ、」「上品でしとやかでなければ…」と思うであろうその気持を多くの人々が持つとすれば、容というものの重要性がそこにあるような気がする。我々が一張羅の背広を着ているとき、しゃんとしなければならぬと思い、気が張っているのが常である。だから家へ帰って普段着に換えたときあゝくつろいだ、と思うのであろう。当世学生諸氏が制服をほとんど着ないのも、拘束がないことを体でもって示し、気持の上で極めてフリーでありたいためにジーパンなどを常用しているのではないかと推測する。

私達の阪急電車はお客様への輸送を主体とするさまざまのサービスで成り立っている。例えば設備の面―これだけ一生懸命考えてやっているのに、多客の通り過ぎたあと汚なくなったホームを見渡して唖然とすることもある。よく言われる日本人の公徳心欠如云々ということも、その向上のためのPRも我々の仕事の一つであり、ものを大切にし、良識的な行動をして頂くよう要請はしたい。他面、我々は容の持つ重要性から、即ち大きく言わせて下さるなら〝威厳のある阪急電車〟造りのため、人的に、物的に充実することを目指してゆきたいのであります。

謹賀新年
（財）大阪防疫協会
理事
職員　一同

お知らせ

当協会事業部では次のとおり血清（治療剤）を常備しております。

○ガスエソ抗毒素（国有ワクチン払下品）
○乾燥破傷風抗毒素
○乾燥まむし抗毒素

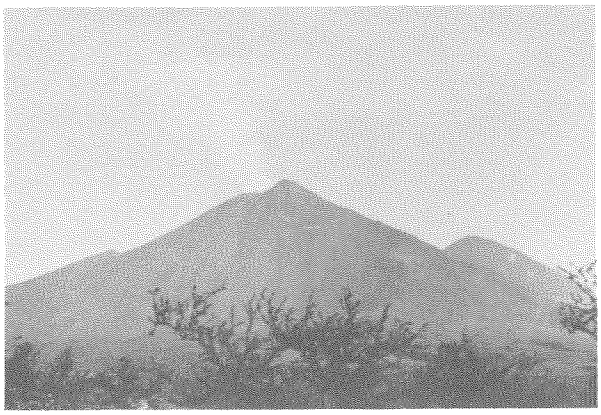
保管場所
東大阪市中小阪五丁目十六番三号　防疫資材部
☎（06）七二四―〇五三三（代）

ひとの辛さを知る

大阪府立公衆衛生研究所
主任研究員　伊藤　寿美代

あけましておめでとうございます。昭和五十四年の新春を迎え、皆様のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げます。

日本は今や経済大国に成長し、先進国の列に加わって発展途上国への援助を要請される立場にあります。医療協力事業もその一つであり、われわれの分野に関連するものとして、現在、グアテマラ共和国においてオンコセルカ症研究対策プロジェクトが進められている。常時七、八名の専門家が日本から派遣され、首都グアテマラ市にあるオンコセルカ研究所を本拠として、この国の山岳地帯に蔓延するオンコセルカ症を撲滅するための調査研究や技術指導が行なわれている。昨年一月から六か月間、私もメンバーの一人として派遣されました。



美しいパカヤ火山（標高2552米）

オンコセルカ症というのは、糸状虫がブユによって媒介されて起る寄生虫病の一種で、成虫の産生するミクロフィラリアが眼に侵入してしばしば失明をおこすので恐れられている。薬品による患者の治療は副作用が強くて使用できないため、現在のところ媒介ブユ、特に幼虫の駆除が流行を断ち切る唯一の対策とされている。従ってこのプロジェクトの目的も、この国に適したブユ幼虫の駆除法を見出すことにあります。

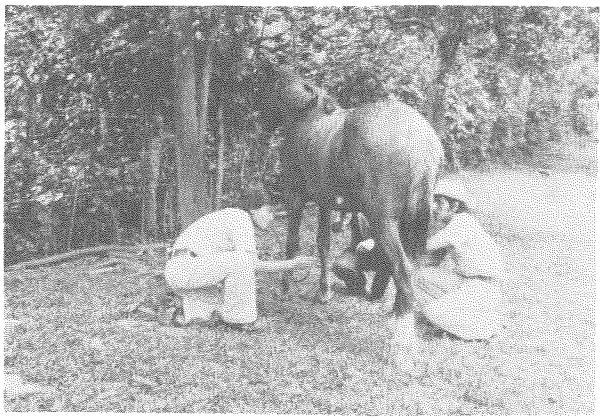
グアテマラはコーヒーと地震でよく知られる風光明媚な熱帯の国であるが、南部に横たわる火山脈周辺の急峻な山岳地帯がこの国での最大の本症流行地となっている。その一画、秀麗なパカヤ活火山の南西側、サン・ビセンテ・パカヤ地区が実験区に定められた。コーヒー園と放牧地が連らなるこの地域には、滝のように、また岩肌を舐めるように流れ下る多数の小渓流があって、そこに沢山のブユ幼虫が発生している。日本人はそれぞれの分担テーマに従って現地人との協力のもと、住民調査、川の探索、ブユの発生調査など精力的に作業を進めている。私の担当は、ブユの駆除対象をどの種に絞るかを決めることで、室内実験に主眼がおかれていたが、実験材料の採取や野外調査の必要もあってたびたび実験区にも出掛けた。

ひとを囮としてブユを採集

野外調査の日は朝が早いので迎えのジープを利用することにしていたが、折角はるばる来たのだから少しでも多くこの国の人達に接してみたいと思い、ひと月ほど経った頃から、セントロと呼ばれる繁華街にあるホテルから研究所まで約三十分の道のりを、市内を走るバスで通うことにした。このバスがまた、日本では一寸お目にかかれないようなおんぼろで、しかもひど

く乱棒な運転にびっくりした。しかし乗客は、着ているものは粗末でもみんな素朴で親切だった。

着任後三か月余り、グアテマラの生活にも馴れ、実験も軌道にのって多忙な毎日を過していた。その頃から朝目を醒ますと、野外でブユに咬まれる（手や頸）のとは違って足頸や太ももに二つ三つ虫に刺された跡があり、二、三日ごとに新しい刺し口が増え、何日もしつこく痒いことが始まった。さてはバスの中で南京虫でも拾ってきたか、厄介なことになったと嘆いていた。



馬を囮としてブユを採集

とも角正体を見極めねばと、何度も夜中に起きたりベッドの隙間を丹念に調べてみたが、何の気配も痕跡も見出せなかった。そのうち野外に出掛けた翌日に刺し口が増えるらしいことに気がついた。その頃にはもう大分ひどくやられていた。そして忘れもしない五月十九日、実験区内の一地点で囮に集まったブユ成虫を、しゃがんだり座りこんで数時間採集して帰った夜、下半身の圧迫されていた部分に無数の発疹。掻くと腫れてますます痒い。キンカン、抗ヒスタミン剤、その他持っていた数種の薬もほとんど効き目が無かった。この前後に野外に出た人は大抵ひどくやられて苦しんだ。その時点ではまだ加害者の正体ははっきりと判らなかったが、小形のダニではないかと仲間で話題に登っていた。このことをリーダーのT先生に話したところ、「ツツガムシですよ。昨年来られたS先生がナンショウツツガムシがいるのを確認されていますよ」と。生まれてはじめてツツガムシの洗礼を受けた。標本をとりたいと思ったが、帰国も迫り実験の追い込みでとうとう果せなかった。あの時のつらさは今も忘れることができません。

近年、生活様式の変化に伴なって新顔の衛生害虫が登場し、被害を受けた府民からの相談がわれわれの処にもしばしば持ちこまれます。昨年は特にシバンムシアリガタバチの被害が続出した。虫に暗い人達が被害を受けた時の不安は一人大きいことでしょう。年の初めに当って、自らの経験を思い出し、一層誠意をもって府民のサービスに当ろうと気持を新たにしている次第です。